

北ガスグループにおける道内自治体との 地域脱炭素の取り組み



北海道ガス株式会社 執行役員 環境・地域共創推進部長 今城 忠宣

<自己紹介>

2024年4月に創設された環境・地域共創推進部にて、北海道内各地域の再生可能エネルギーや環境価値の地産地消型エネルギーモデルの構築を進め、脱炭素と地域課題を一体的に解決する環境・地域連携事業の推進に取り組んでいる



北ガスグループ経営計画「Challenge2030」

- 積雪寒冷地・北海道において、省エネによるCO₂の削減、エネルギー供給が途絶しない強いネットワークづくりなどへの取り組みは重要な課題
- エネルギーと環境の調和を図り、北海道に適した持続可能なエネルギー社会の実現を目指す

I. 総合エネルギーサービス事業の進化による分散型社会の形成

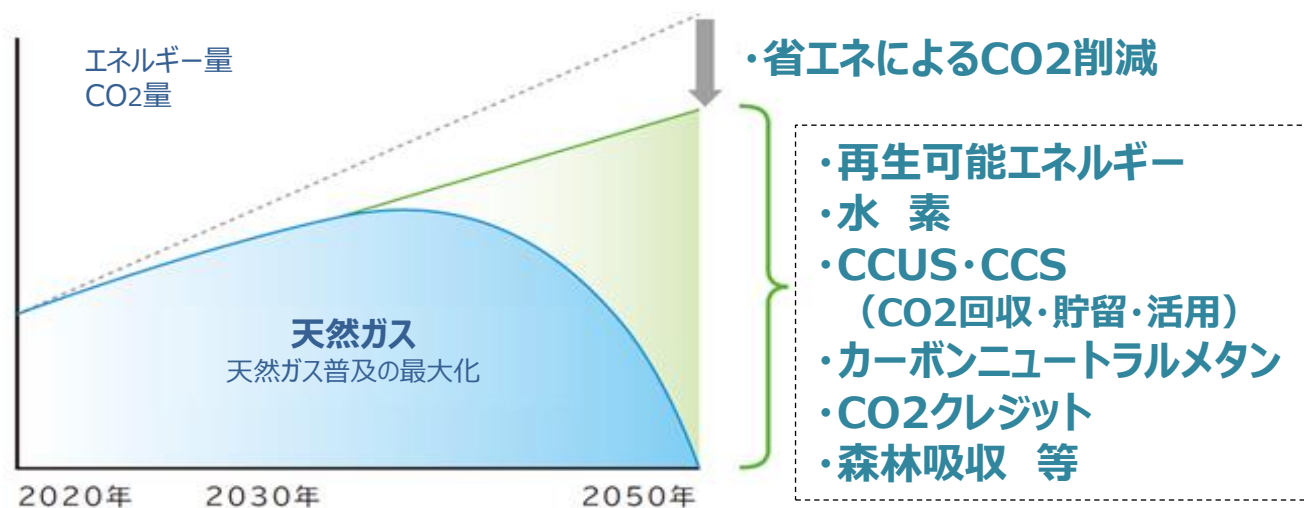
II. カーボンニュートラルへの挑戦

III. デジタル技術の活用による事業構造変革

「エネルギーと環境の最適化による 快適な社会の創造」

◆天然ガスの高度利用とDXを活用した徹底的な省エネ推進によるCO₂削減

◆2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、あらゆる手段、可能性を探り、備えを進めていく



地域連携の取り組みによる道内各地域へのCN・GX貢献

地域資源を活用した「地産地消のエネルギーモデル」の展開
⇒地域から北海道全体のCN・GXへ

脱炭素化と地域課題の一体的課題解決

地域脱炭素社会の実現
地域内経済循環の促進

エネルギーセキュリティー
レジリエンス

快適な暮らし・まちづくり

CN商品・観光の展開
地域のブランド力向上

苫前町（2023/6）
風力発電の活用



美瑛町（2025/6）
森林資源の活用

赤井川村（2024/6）
省エネサービスの導入、再エネ資源の活用

厚沢部町（2022/6）
風力、水力、太陽光などの活用



上士幌町（2017/9）
畜産バイオマス、太陽光などの活用



南富良野町（2021/6）
森林資源の活用



夕張市（2017/5）
公共施設の省エネ推進、再エネ資源の活用

函館市（2020/8、2023/1）
カーボンニュートラルの実現、まちづくり等の連携

カーボンニュートラルに向けた新技術導入(メタネーション)

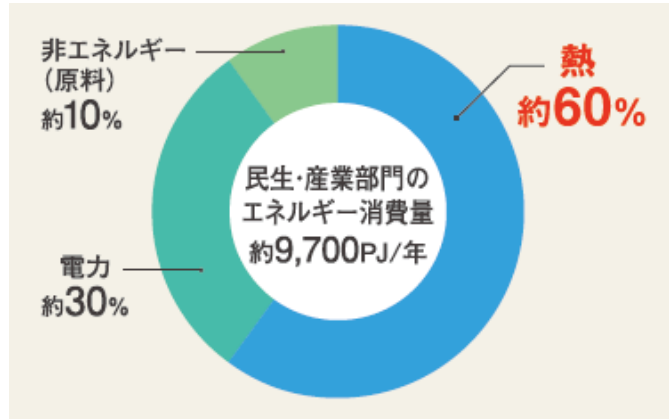
水素と二酸化炭素を合成し、メタンを製造する技術
⇒燃焼時のCO₂と、合成段階でのCO₂が相殺され、カーボンニュートラルを実現



エネルギー消費量の6割を占める
「熱」エネルギーの脱炭素化に貢献



既存インフラ活用による社会コスト抑制
(都市ガスインフラ、ガス機器はそのまま)



出典元:日本ガス協会HP(<https://www.gas.or.jp/gastainable/>)

令和5年度環境省補助事業
「地域の原料を活用した
メタネーション地産地消モデルの
実証事業中」

